

久山中便り

久山中学校

令和8年3月18日発行

第83号

最高学年としての決意

第二学年集会

三年生が卒業しました。

久山中学校を支えていくのは、現二年生。

そこで、第二学年集会を行い、生徒会長から、気持ちのこもった決意が述べられました。一部紹介します。

いよいよ三学期も残すところあと少しになりました。三年生も卒業し、私たちは、最高学年になりました。先週、卒業式が行われました。これまで、三年生はいつもいてくれる存在で私たちを引っ張ってくれていました。式に参加したのは、生徒会役員、自治委員、そして吹奏楽部の皆さんという少人数です。どんな式だったのか伝えたいと思います。

卒業証書授与では、一人一人がはっきりとした返事が会場に響き、堂々とした態度で臨まれていました。たくさんのお祝いの言葉の間も、背筋が少しも緩まずしっかりと聞いていらっしかったです。

合唱曲「超えてゆけ」では、力強い伴奏と

美しいハーモニーが会場に響き渡りました。最後まで堂々とされていて本当に立派な姿でした。

答辞の中で前生徒会長が「楽しかった日々は当たり前のように、当たり前でなかったと気づいた。」と述べられました。

だからこそ、私たちも三年生になったら一つの出来事は一期一会なのだ意識し、行事や取組ができることに感謝したいと思います。また、どんな時でも仲間を頼れるようになりたいです。困ったときもうれしいときも、仲間とともに進んでいきたいです。それこそ「共創前進」だと思います。

課題もあります。学習中に私語をしたり、周りに注意できなかったりするなど、「周りを見て思いやる力」がまだまだ不足しているのだと思います。

三年生まであとわずかです。四月には、頼りがいのある三年生としての姿を見せ、新一年・二年生を引っ張っていきけるよう、全員で頑張っていきましょう。

素晴らしい決意です。二年生の一人一人の個性が輝き、仲間とたくましく成長し、久山中学校を牽引する原動力となることを期待しています。

百人一首大会

16日(月)の午後は、練習してきた百人一首大会を、一・二年生合同で行いました。

上の句でとれる札も多くなり、会場は熱気に包まれました。現クラスで対抗戦があるのもこれが最後となります。

優勝は、一年二組と二年二組。おめでとうございます。学年末の楽しい時間を過ごすことができました。

来年度はクラス編成があつて、仕切り直し。朝の会や帰りの会、授業などで、現クラスの仲間との交流を最後まで深めてほしいと思います。

小学校卒業式

17日(火)は、小学校の卒業式でした。

四月から入学してくる小学生たちは、「証書授与」、「別れの言葉」に、素晴らしい態度で臨んでいました。

特に、最後の合唱では、伴奏する六年生が涙を流しながら、ピアノを弾いていたのが印象的でした。

素敵な卒業式を終えた六年生たちが、中学校に中学してくるまで、あと二十日程度。新三年生が中学生らしい姿を見せてくれることだと思います。

新入生は、安心して、入学式に臨んでほしいと思います。

